

タキストロン プラスケア 施工方法

マンション用

プラスケアPGE

プールサイド用

プラスケアMJ

幼児施設用

プラスケアWJ・CJ



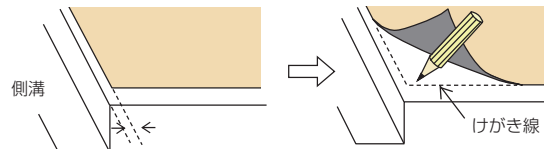
下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

1. 下地・使用環境の確認

- 下地の清掃を行い、砂・塵埃などを除去してください。
- 下地の表面が平滑で十分な強度があること、塗料や油分などの汚れが残っていないことを確認してください。
- 下地に湿気がある場合は十分に乾燥するまで養生してください。(必要に応じて下地の水分率を確認してください。)
- 施工開始から養生終了までの間に気温が5℃以下になる場合や、急激な温度変化や水濡れがある場合は施工できません。

2. 割り付け

- できるだけ継目部を少なく、端部に小さなシートが入らないように割り付けてください。
- 端部は端部処理材の仕上げ代として隙間を空けてください。
- 接着剤を端部まで塗布するため、シート端部の位置を下地に鉛筆などでけがいてください。



端部処理材の仕上げ代

	側溝側	壁際
プラスケアPGE(厚さ3.5mm)	5mm以上	3mm以上
プラスケアWJ・CJ・MJ(厚さ5.0mm)	7mm以上	3mm以上

3. 仮敷き

- 張り付け基準線に沿って、仮敷きを行ってください。
- シートには方向性があります。同一方向になるように施工してください。
- 巻きグセを取り、シワが生じないように敷き延ばしてください。
- 柄模様のあるシートは、できるだけ柄合わせを行いながら、シートを敷いてください。
- 二枚のシートの継目部は突き付けとし、隙間が生じないように注意してください。
- 継目は柄模様の目地部で行うのが基本です。

4. 接着剤の塗布準備

- 下地に接着剤を塗布するため、タキストロンの半分(幅方向)をすれないように折り返してください。

5. 接着剤の塗布

- エポキシ系接着剤の場合、接着剤は下地上での混合は行わないで別容器で十分に攪拌してください。
(下地上で混合すると混合不良となり後日のフクレ・接着不良の原因となります。)
- 下地に塗布ムラが生じないように均一に塗布してください。

標準塗布量	モルタル下地:300~400g/㎡ 非吸水性下地:250~350g/㎡
-------	--

- クシ山が1/3以上摩耗した場合、三角ヤスリで目立てを行ってください。

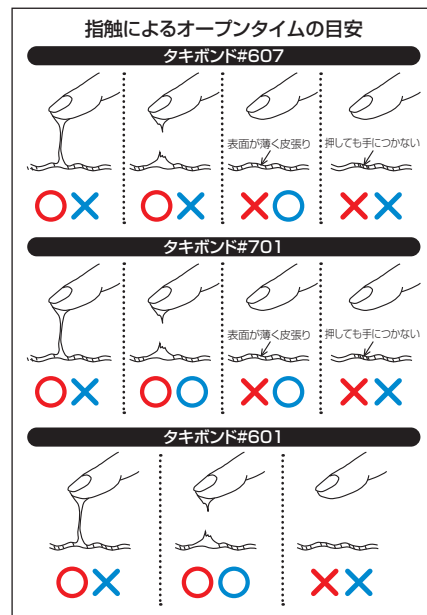
6. オープンタイム

- ⚠ ●プラスケアMJ・WJ・CJは接着剤塗布後、ただちに張り付けを行ってください。
- プラスケアPGEは適切なオープンタイムを取ってください。
- いずれも張り付け可能時間内にシートを張り付けてください。
- オープンタイムを取りすぎで接着剤が乾きすぎると接着力が低下します。
- 5℃以下では使用しないでください。(硬化反応が進みません)

オープンタイムの目安(20℃)

接着剤	プラスケアPGE ※		⚠ 通常より短くなっています	
	オープンタイム	張り付け可能時間	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンド#607	20~30分	40~50分	0分	5~15分
タキボンド#701	30~40分	50~70分	0分	20~30分
タキボンド#601	30~40分	60~70分	0分	30~50分

※オープンタイムが短すぎるとガス影が生じます。



7. 張り付け・エア抜き

- シートにシワを生じさせないように、中央部から幅方向に丁寧にシートを張り付けてください。
- シート張り付け後、しごき圧着でエア抜きを十分に行った後、床ローラーや、しごき棒などで圧着してください。

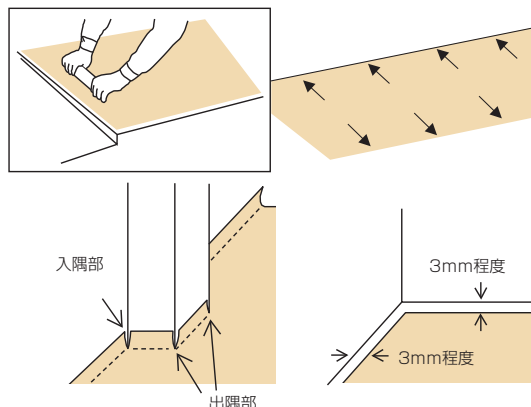
8. 壁際の裁断

- 壁際は3mm程度の隙間が空くように裁断してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないように注意してください。

9. 圧着

- 壁際及び継目部をハンドローラーやコーナーローラーで十分に圧着してください。

- ⚠ ●プラスケアMJ・WJ・CJはクッション性が高いため、より強く圧着してください



⚠ 赤字:プラスケアMJ・WJ・CJ 青字:プラスケアPGE

試験データ
P.217

法規関連
P.240

工法・下地
P.250

施工手順
P.269

接着剤・
副資材
P.332

副資材
品番一覧
P.347

メンテナンス
注意
P.352

10. 養生(1~2日)

- 接着剤が硬化するまで1~2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 接着剤が硬化するまで、気温が5℃以下にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)
また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤が硬化するまで、重量物の運搬やカスター椅子などによる「しごき」を避けてください。

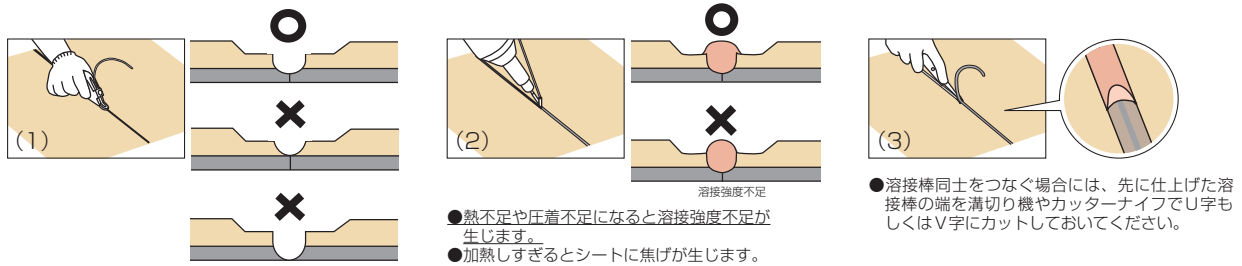
11. 継目処理

溶接工法

- (1) 接着剤が完全に硬化してから溝切り機*等でシート厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けてください。
※推奨:ヤヨイ化学販売(株)「ユーキリスーパー」
- (2) 熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を溶融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。

溶接条件の目安	設定	アナログ	6~7
		デジタル	400~500℃
	スピード	1~2m/分	

- (3) タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部を溶接棒トリマー等で平滑に仕上げてください。



シール工法

養生が可能な場合は、11. 端部処理と同様の手順でタキシール#600を使用することも可能です。但し、以下につきまして十分に注意してください。

※養生期間を2~3日間設けてください。

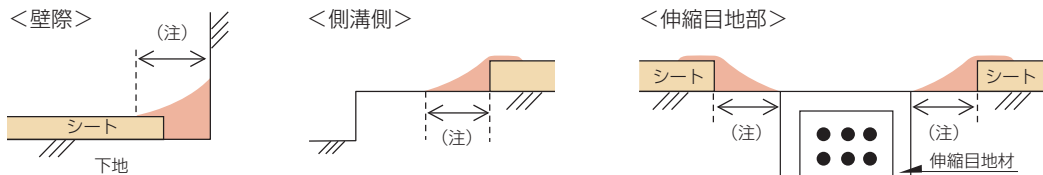
※タキシール#600の仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。

12. 端部処理

- (1) 仕上がりを美しくするためにマスキングテープで養生してください。
- (2) 気泡を巻き込まないようにシート端部及び壁際に塗布してください。
- (3) 充填後直ちに仕上げ用ヘラで平滑に仕上げてください。
- (4) ヘラ仕上げ後直ちにマスキングテープを除去してください。

(注)

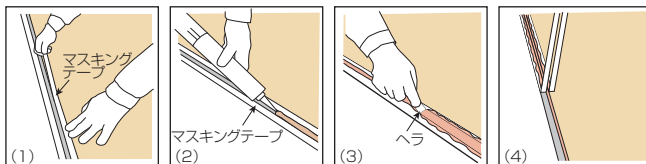
プラスケアPGE(厚さ3.5mm)	5mm以上
プラスケアWJ-CJ-MJ(厚さ5.0mm)	7mm以上



※ シールの仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。

※ 施工時や養生中に湿度の高い場合や、結露、水滴などにより、シール表面の光沢に差が生じることがありますが、端部処理としての機能に問題はありません。施工日が異なる場合は打継ぎ箇所を目立たない所にするなどご注意ください。

※ エポシールは主剤、硬化剤、カラーマスターの混合が必要です。同梱の取扱説明書を参照してください。



標準使用量(通常の1.2~1.5倍必要となります)

	タキシール#600	エポシール
プラスケアPGE(厚さ3.5mm)	16m/本	48m/2kgセット
プラスケアWJ-CJ-MJ(厚さ5.0mm)	13m/本	40m/2kgセット

※ 厚さ5mm以上の場合はお問い合わせください。

13. 清掃

- シート残材・接着剤容器・梱包紙等を片付けてください。
- カッターナイフの折れ刃の回収を徹底してください。

14. 養生(2~3日)

- シール材が硬化するまで、2~3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、気温が5℃以下にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)
また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。(継目にシール材を使用する場合は特にご注意ください。)
- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用する場合は換気を行い、引き渡しまでに数日間を設ける等の配慮をしてください。
- 重量物の運搬などは、接着剤やシール材が硬化した後、ベニヤ板などを敷いて車輪の跡形や傷を付けないように行ってください。

試験データ
P.217

法規関連
P.240

工法・下地
P.250

施工手順
P.269

接着剤・
副資材
P.332

副資材
品番一覧
P.347

メンテナンス
注意
P.352

製品別選定表 (4)

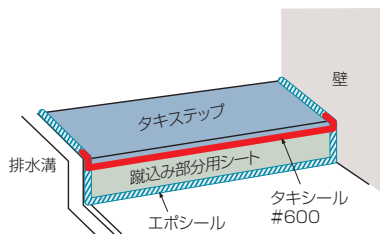
プールサイド用

蹴込み部分用シートCW (3K・3X用)

→施工手順
P.292

工法	用途	下地		接着剤	継目処理材	端部処理材
耐水工法	雨がかりが少ない場所 大量に水を使用しない場所	非吸水	全面塗膜防水	タキボンド #607・701・601	床溶接棒 エポシール	エポシール
		吸水	モルタル			
特殊耐水工法	完全屋外 大量に水を使用する場所	非吸水	全面塗膜防水	タキボンド #607・701・601		
		吸水	モルタル	タキボンド#601		
プールサイド工法	特に大量に水を使用する プールサイドなど	非吸水	全面塗膜防水	タキボンド#601	床溶接棒 エポシール	エポシール
		吸水	モルタル			

- 塗膜防水材下地にタキボンド#601を使用する場合、トップコートの種類によっては接着しないことがあります。営業担当者にお問い合わせください。
- ナイスレシート(NL-030)、ナイスレシート45(NF-050)との二重張りはありません。



幼児施設用

タキストロン プラスケアWJ・CJ

→施工手順
P.273

工法	用途	下地		接着剤	継目処理材	端部処理材
耐水工法	雨がかりが少ない場所 (屋根のあるテラス・廊下)	非吸水	全面塗膜防水	タキボンド #607・701・601	床溶接棒 エポシール	エポシール
		吸水	モルタル			
特殊耐水工法	完全屋外 (屋根のないテラス・廊下)	非吸水	全面塗膜防水	タキボンド #607・701・601		
		吸水	モルタル	タキボンド#601		

- 塗膜防水材下地にタキボンド#601を使用する場合、トップコートの種類によっては接着しないことがあります。営業担当者にお問い合わせください。
- プールサイドには施工できません。
- 階段の段鼻部はコネクトステップ (プラスケア専用)JM・J3シリーズをご使用ください。
- ナイスレシート(NL-030)、ナイスレシート45(NF-050)との二重張りはありません。

幼児施設用

蹴込み部分用シートCW(プラスケアWJ・CJ用)

→施工手順
P.290

工法	用途	下地		接着剤	継目処理材	端部処理材
耐水工法	雨がかりが少ない場所 (屋根のあるテラス・廊下)	非吸水	全面塗膜防水	タキボンド #607・701・601	エポシール	エポシール
		吸水	モルタル			
特殊耐水工法	完全屋外 (屋根のないテラス・廊下)	非吸水	全面塗膜防水	タキボンド #607・701・601		
		吸水	モルタル	タキボンド#601		

- 塗膜防水材下地にタキボンド#601を使用する場合、トップコートの種類によっては接着しないことがあります。営業担当者にお問い合わせください。
- ナイスレシート(NL-030)、ナイスレシート45(NF-050)との二重張りはありません。

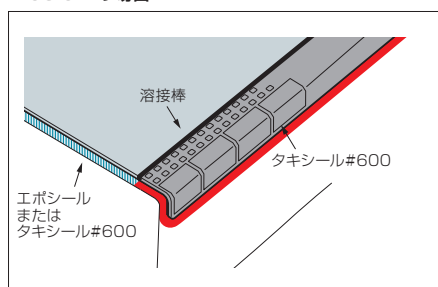
コネクトステップJM・J3(プラスケアWJ・CJ・MJ専用)

→施工手順
P.297

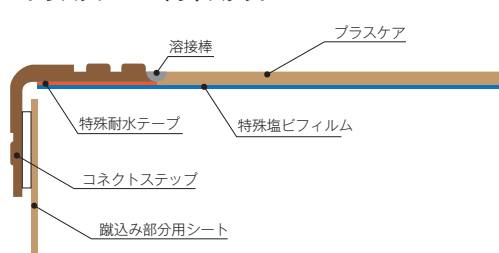
工法・用途・下地・接着剤	シートとの 継目処理材	端部処理材		ステップ同士の継目	段鼻隙間充填用 接着剤	プライマー
		シート周囲	段鼻部周囲			
各シートの工法を参照ください	床溶接棒	エポシール タキシール#600	タキシール#600	タキシール#600	タキボンド #650	タキボンド #625

- プラスケア専用のコネクトステップは、通気緩衝工法には使用出来ません。
- 鋼板下地に施工する場合は、プライマー タキボンド#625(別売品)を購入してください。(#650を段鼻に接着させるため)
- モルタル下地で蹴込み部分用シートを施工しない場合は、プライマー タキボンド#625(別売品)をご使用ください。(テープを接着させるため)

<J3・JMの場合>



<プラスケア + コネクトステップ>



試験データ
P.217

法規関連
P.240

工法・下地
P.250

施工手順
P.269

接着剤・
副資材
P.332

副資材
品番一覧
P.347

メンテナンス
注意
P.352